

# 鍛圧機械 全会員受注グラフ (月次業況調査)

一般社団法人 日本鍛圧機械工業会

2022年5月13日

2022年4月度 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査コメント

- 概況 受注総合計は315.1億円と、前年同月比で44.9%増となり、2021年年初から引き続き16ヶ月連続プラスとなった。プレス系、板金系ともに国内外で好調であった。全世界的には、コロナ禍を起因とした一部部品の品薄や、物流関係の混乱という問題に加えて、ウクライナ侵攻による原材料高騰等の影響が懸念される。
- 機種別 プレス系機械は114.1億円と、前年同月比で28.3%増となり、大型・超大型プレスは大幅増、中型プレスで7.3%増、フォーミングも26.9%増となったが、小型プレス、油圧プレスはマイナスとなった。板金系機械は132.3億円で、前年同月比2.2倍となった。パンチングが2.1倍、プレスブレーキ58.0%増、レーザ・プラスマも3.1倍であった。
- 内外別 国内は132.1億円、前年同月比85.7%増となり、金属2.4倍、一般機械3.0倍、自動車も66.9%増、電気も37.2%増で、鉄鋼は4.2倍であった。(機種計) 輸出は114.3億円、前年同月比46.3%増となり、北米向3.3倍、欧州向5.9倍、東南アジア向15.9%増となったが、中国向、韓国・台湾向はマイナスとなった。

## 鍛圧機械 全会員受注動向 月次業況調査 推移グラフ



